



2022年6月1日

第34号

発行:大学生協友の会

〒166-8352 東京都杉並区和田 3-30-22 全国大学生協連役員室 TEL 03-5307-1111
E-mail: unicoop@univcoop.or.jp ホームページ <https://unico.itigo.jp/>

会報

大学生協友の会

2022年度の総会にあたつて

友の会幹事長 伊野瀬十三

新型コロナウイルスは現在のところ小康状態にあります。しかし、「規制」がなかつた今年のゴールデンウイークは昨年一昨年を大幅に上廻る人出となつており、感染の再拡大が不安視されています。引き続き警戒と万全な対策が必要です。

ロシア（ブーチン）によるウクライナ侵略戦争は長期化、泥沼化の様相を呈しています。核兵器や化学生兵器の使用をほのめかすなど常軌を逸したプーチンの暴走を一日も早く止めなければなりません。そして戦争が長引けば長引くほど犠牲になるのは戦争当事国は勿論のこと、食糧やエネルギー資源のこと、経済的に貧困な国々の市民であり弱い立場にある人々なのです。その一方で軍需産業や“死の商人”、エネルギーや穀物を支配する多国籍企業がボロもうけをし、国をけしかけているアメリカが最も潤つていています。

こうした中で、国内において敵基地攻撃能力の保有や核の共同保有、非核三原則の見直しなどが公然と語られている現状に危機感を抱かざるを得ません。今こそ紛争は武力行使ではなく平和的に解決する姿勢を明確にすべきだと考えます。

さてコロナ禍のもとでの大学生協の状況ですが、引き続き厳しい状況にあるもののこの間の大学生協役員の奮闘、大学当局や地域生協をはじめとする生協の仲間の協力や支援によって“存続の危機”は脱しつつあります。2021年度の決算はオンライン授業の継続で供給高は厳しいものがありました。人件費をはじめとする経費の節減などから経常剰余高は赤字ながらも昨年を大幅に改善しました。当期剰余金は、国の補助金などもあり若干の黒字となりました。しかし大学生協の、まさに“再生”にむけた抜本的な経営構造改革には課題を残しました。2022年度は大学生協の共済事業をコープ共済連に事業譲渡をするなど事業構造の大転換を

はかりながら“再生”にむけた大きな一歩を踏み出す年となります。友の会としても微力ながらこれまで以上に大学生協の支援、協力を惜しまない決意です。

一〇一一年度総会開催の件案内

日時：一〇一一年七月一日（土）
会場：大学生協杉並会館会館

方法：ズームを併用したハイブリッド総会とします。

議案：

- ①一〇一一年度活動報告の件
- ②一〇一一年度会計監査報告
- ③一〇一一年度活動計画の件
- ④一〇一一年度予算計画の件

〈第一部特別企画〉午前一時頃～二時五〇分
テーマ：大学生協の再生に向けて

～東経大生協の取り組み（仮題）
講演：東京経済大生協 尾崎寛直 理事長
交流：会場及びオンライン参加者との意見交換

※総会へのオンライン参加ご希望の方はメールまたはハガキにてお知らせください。

〈懇親会〉一時～十五時 会館5階
会費：2千円

幹事会開催日時：総会当日一〇時～一〇時四〇分

あの時代、あの頃のこと～私と大学生協 その②



大学生協友の会会員(2001年入会)・仲田 秀

「出せない」と理事会の意思を明確にした回答をせざるを得なかつた。

一方で山岸さんが手配してくれた

職員と馬が合わず、退職したため、戦

力は落ちたが、自立した態勢に転換

する契機となつた。しかし、大学を卒業したばかりの私には、数値を見な

がら、理事会と労使問題に対処する

ことは、エネルギーが奪われて、学生

理事に余裕を持つて接することも出来ない状況が続いた。

3 専従職員としてのお茶大生協

【お茶大生協専従理事として】

65年9月より生協常任理事となり、食堂主任として、食堂経営に専念することになった。62年か63年から出向していた山岸さんが東大生協に戻る人事を受けて、66年6月より生協専従理事・業務主任として、移管された生協食堂の運営をはじめ、購買・書籍・喫茶など業務全般を担当することとなつた。

生協専従理事として、労働組合の生活要求を直接受ける立場となり、理事長、東大生協員外理事、学生専務理事、常任理事とともに、労使交渉の矢面にたつ、日常の仕事では何日も口をきいてもらえない日が続いた。「赤字は決して

この時代の楽しかったことが、二

69年1月、授乳時間付き時短勤務

つである。一つは、事業連合結成準

備期で経理も自力で経営分析も分

からないまま東大生協に援助して

もらひ税務申告する時代だったが、

東大以外は中小規模の生協が月に

一回集まる東部ブロックの経営ト

ップたちがお互いの生協の経営診

断をして学びあつていたことであ

る。

外語大竹田氏、医科歯科大豊崎

氏、埼玉大大友氏、東京教育大山崎

氏、そしてお茶大の私、リードは東

大生協の池田氏であつた。山崎さん

と私を除いて鬼籍の人になつてしまつた。もう一つは、67年か、6

8年の新学期に新一年生を10人ほど学生委員を獲得し、自らが作る

なさい」とのアドバイスを受けて、新学期活動をのびのびと展開させたことである。

振り返つてみると、学生時代を含

に合わせて仕事を組み立てる仕事の仕方によって、必要とされる業務

に集中することができた。この体験

が、その後の私の生協活動に広がり

を与える契機となつた。

68年10月からの産休を経て、東大生協へ移動（出向であった）す

ることとなつた。実はその時、活動

の範囲が狭く視野が広がりにくく

お茶大へ戻る気が半分以上失せて

しまつっていた。

4 東大生協の頃 その1

【医科研で生協食堂をつくる運動】

この時代の楽しかったことが、二

69年1月、授乳時間付き時短勤務

として東大生協駒場購買部勤務

となり、万年筆とタイプ販売を担当

した。東大闘争の最中でもあり、第

二食堂の炊き出しに本郷に足を運

ぶこともあつた。

授乳時間を1時間保障されること

と、責任の範囲が狭いことが仕事へ

の意欲を削ぐ制約となつた。昼休み

時間に情報の集約にアンテナを張

ることに専念し、自分の時間は往復

の通勤時間以外に持てない状態と

なつた。

尊敬する先輩に相談に行き、「子育て

の期間の働き場所は、通勤距離では

ほど学生委員を獲得し、自らが作る

下を掘つた壕のような地下室だつ

法政生協第一購買部職員 OB (有志) 会がおこなわれました

鹿児島県喜界町より良岡氏が上京するとの事で、法政生協 S1 会OBが集いました。当日はマスク会食となりましたが、久しぶりに顔を合わせ近況を報告し交流しました。

退職者をお祝いする会開催を望む声を受け、再開を約束しつつ散会しました。

2022年4月



た。教職員と院生だけの東大生協付属研究所の厚生施設はとても貧困だった。そこで、業者が経営不振で放り出して施設内になかつた食堂をつくりたいという組合員要求と出合つた。

東大生協付属研究所は当時麻布に物性研

・生産研、目黒に医科研、大沢に天文台、駒場に航空研があり、組合員が運営委員会を構成して、生協の付置研支所として、店舗と食堂を運営していた。当時医科研にだけ食堂がなかつた。

(次号に続く)

開催日時 2022年4月9日 (土) 15時～17時
場所 大学生協杉並会館会議室

出席 伊野瀬、岡安、釜田、倉橋、説田、藤村、柳ヶ瀬、塩谷、柴田、中村、平田、茂垣、和久井、大久保

(以上 幹事)

和知、古越 (以上 会計監査)
欠席 宮寺、薄葉、山崎、齋藤、馬場 (敬称略)

報告事項

1) 幹事近況報告

2) 前回幹事会以降の各生協OB会

3月19日 早大生協幹事会 (10月1日総会開催予定)

3) 前回以降の事務局活動

2/12 事務局会議開催
2/12 友の会会報 33号発行

4) 会員情報 (4月9日現在)

新規加入者 大木島誠・星野義文・宮田久仁子・山下哲也
現在の会員数 259名
物故者情報 遠山孝治

協議事項

1) 2022年度活動と年間計画

2) 友の会総会特別企画

・意見交換にもとづき事務局で講演候補者に折衝する

3) 会報第34号発行計画 (5月25日発行予定)

4) 総会日程の確認 2022年7月2日 (土) 11時開催

5) 12月会員親睦会 (12月3日) 確認

開催時間は追つて会報にて連絡する

6) 第3回幹事会(総会開催日)開催日時について
時間は後日連絡する

以上 協議確認した

2021年度第2回大学生協友の会幹事会報告